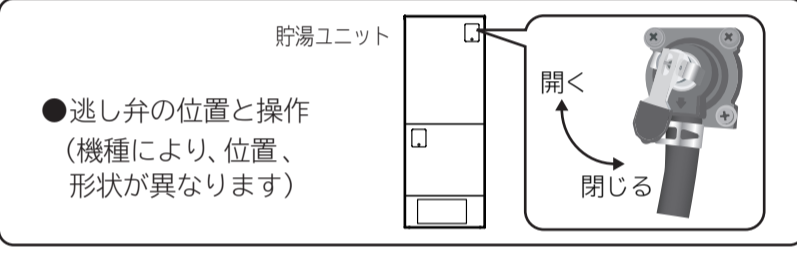
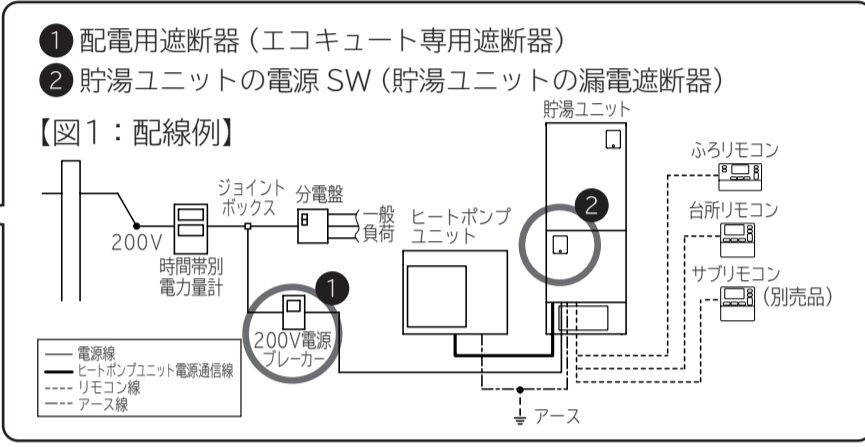
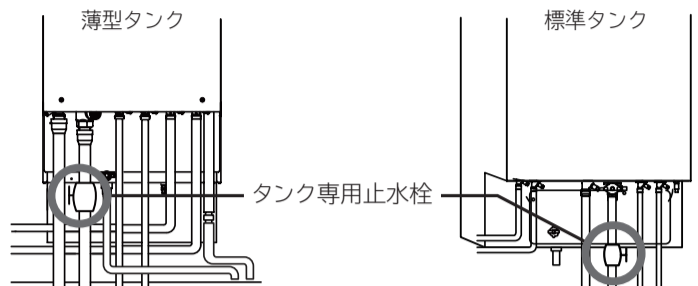
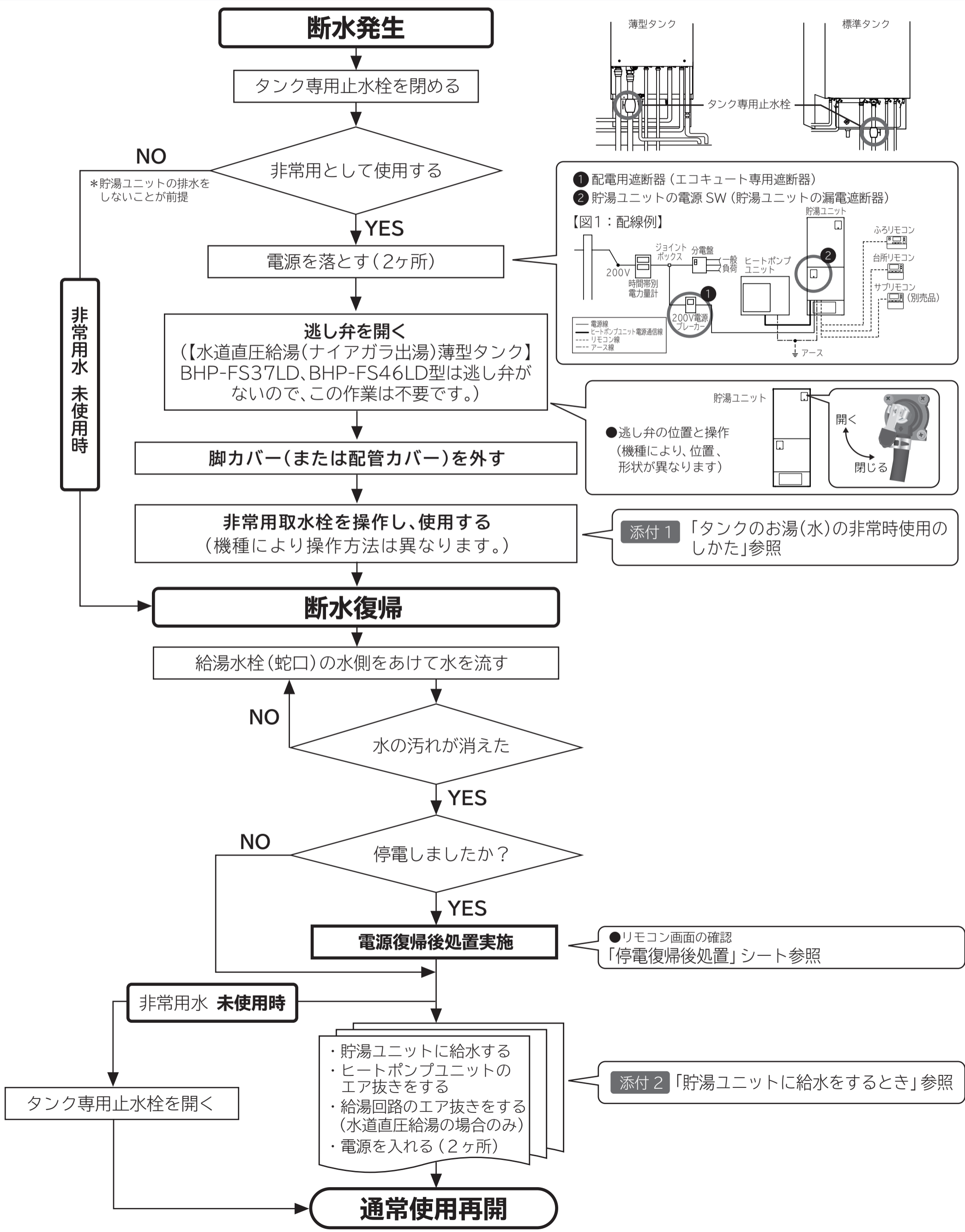


エコキュート 断水時の処置

●以下の手順に従ってください。

なお、【L型（2012年発売）、N型（2013年発売）、P型（2014年発売）】の水道直圧給湯（ナイアガラ出湯）は、非常用水使用后、貯湯ユニットに給水するとき、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。（作業は有償になります。）水道直圧給湯（ナイアガラ出湯）は「取扱説明書の表紙、または貯湯ユニット前面カバー左上の銘板」で確認できます。



添付1 「タンクのお湯(水)の非常時使用のしかた」参照

●リモコン画面の確認 「停電復帰後処置」シート参照

添付2 「貯湯ユニットに給水をするとき」参照

タンクのお湯(水)の非常時使用のしかた

BHP-FV型
BHP-F型
BHP-FW型

BHP-FR型
BHP-FG型
BHP-FX型

BHP-A型
BHP-ZA型
BHP-Z型

添付 1-1

- 万一の災害時などは、タンクのお湯を非常用生活用水と使用することができます。
 - 飲用はできません。やむを得ない場合は、沸騰させてから飲用してください。
- なお、固形物や変色、濁り、異臭、異物があった場合には、雑用水として使用してください。

貯湯ユニットに脚(配管)カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚(配管)カバーを外して作業し、作業終了後は、脚(配管)カバーを取り付けてください。

1 漏電遮断器のスイッチ(電源スイッチ)を「OFF」にする

2 タンク専用止水栓を閉じる
・タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

3 逃し弁のレバーを上げる

4 非常用水取水ホースの先端を熱に強い容器で受ける
・熱湯(最高90℃)が出る場合があります。

5 タンクのお湯(水)を出す

お願い

非常用水取水ホースから出るお湯(水)の最初は湯アカなどが含まれている場合があります。しばらく流し捨ててからお使いください。

お湯の使用が終わったときは、タンク排水栓ハンドルを「通常」に戻し、ねじを取り付けてください。

給湯機として再び使用するときには、「貯湯ユニットに給水するとき」→添付2に従ってください。

給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。

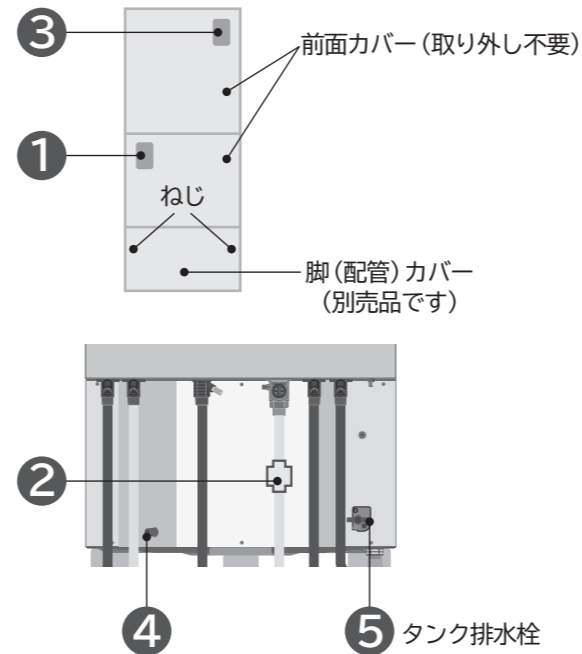
警告



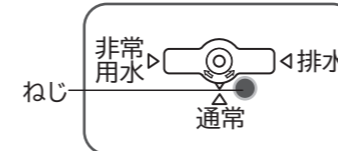
非常用生活用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

- 熱いお湯(最高90℃)が出ます。やけどにご注意ください。
- ガラス容器などは熱により割れることがあります。

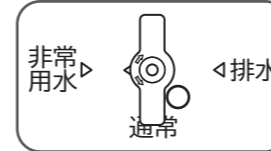
2012年、2013年 発売モデルの場合 (L型、N型)



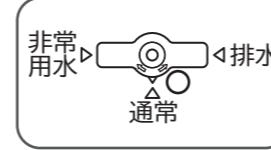
1 ねじを取り外す



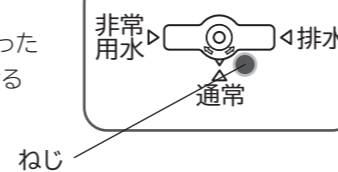
2 ハンドルを「非常用水」方向に回しお湯(水)を出す



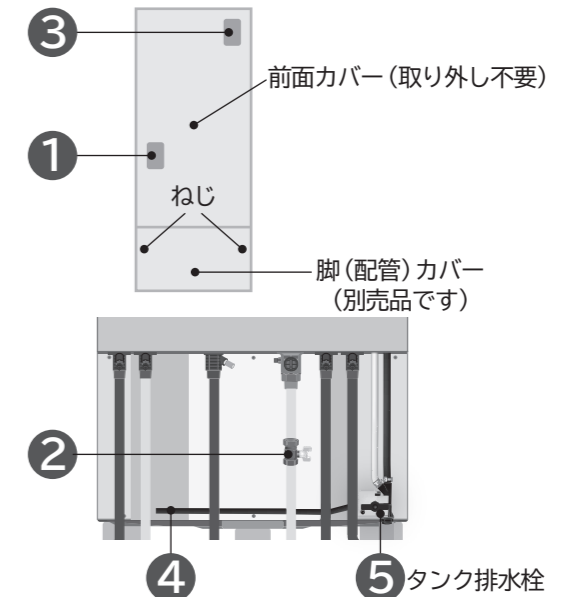
3 お湯(水)を止めるときはタンク排水栓を「通常」に戻す



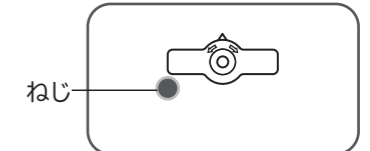
4 お湯(水)の使用が終わったときは、ねじを取り付ける



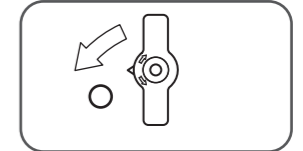
2014年以降 発売モデルの場合 (P型、R型、S型、T型、U型、W型)



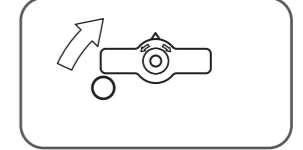
1 ねじを取り外す



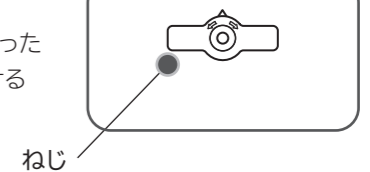
2 ハンドルを左側に回しお湯(水)を出す



3 お湯(水)を止めるときはタンク排水栓を右に回し、元の位置に戻す



4 お湯(水)の使用が終わったときは、ねじを取り付ける



タンクのお湯(水)の非常時使用のしかた

BHP-FS型
薄型タンク

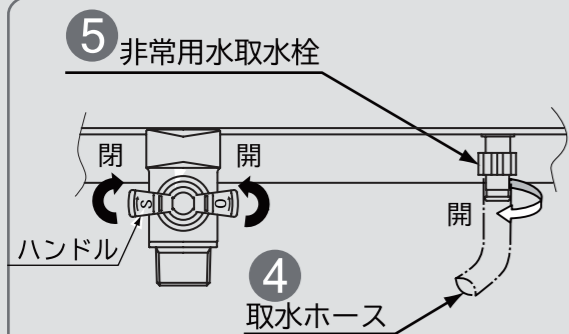
添付1-2

- 万一の災害時などは、タンクのお湯を非常用生活用水と使用することができます。
- 飲用はできません。やむを得ない場合は、沸騰させてから飲用してください。なお、固形物や変色、濁り、異臭、異物があつた場合には、雑用水として使用してください。

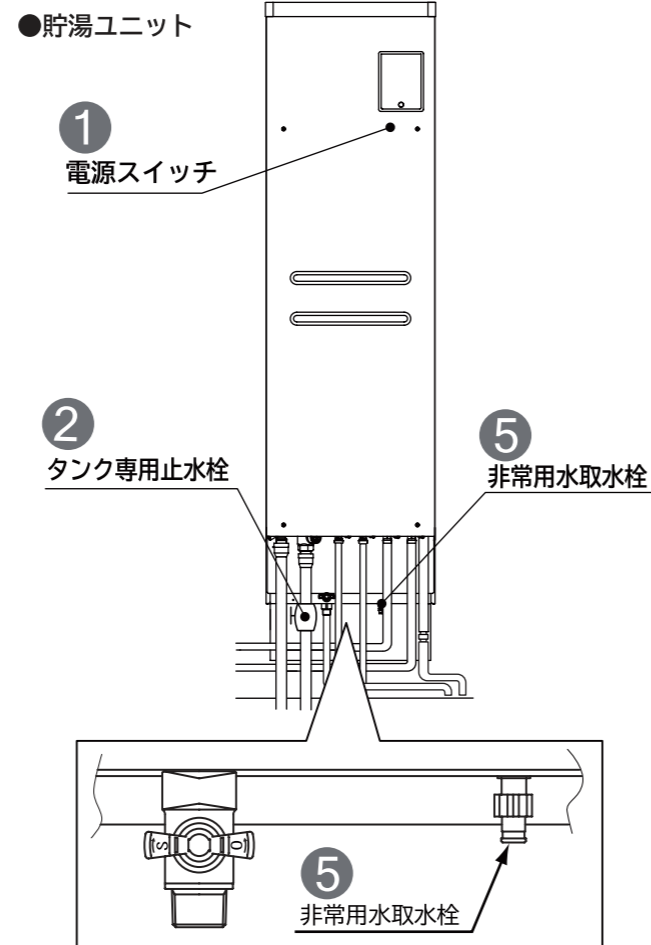
貯湯ユニットに脚(配管)カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚(配管)カバーを外して作業し、作業終了後は、脚(配管)カバーを取り付けてください。

2012年 発売モデルの場合 (L型 モデル例 BHP-FS37LD)

- 1 漏電遮断器の電源スイッチを切る。
- 2 タンク専用止水栓を閉じる。
●貯湯ユニットへの給水を止めます。
- 3 脚カバーを外す。
※脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーのねじ(2本)を外し、脚カバーを外してください。
- 4 取水ホースを取り付ける。
●取水ホースを取り付けます。
取水ホースは内径8mmのものをご用意ください。
- 5 貯湯ユニット内のお湯(水)を出す。
1 非常用水取水栓を左側に回してゆるめると、ホースからお湯(水)が出ます。



- 2 止めるときは非常用水取水栓を右側に回して、閉めてください。



- お願い**
- ホースからは、お湯(水)が出てきますが、使いはじめは、湯あかなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「非常用水取水栓」を閉めていることを確認してください。
 - ふたたび使用するときには、お買い上げの販売店または工事店に貯湯ユニットへの給水を依頼してください。(有償になります。)

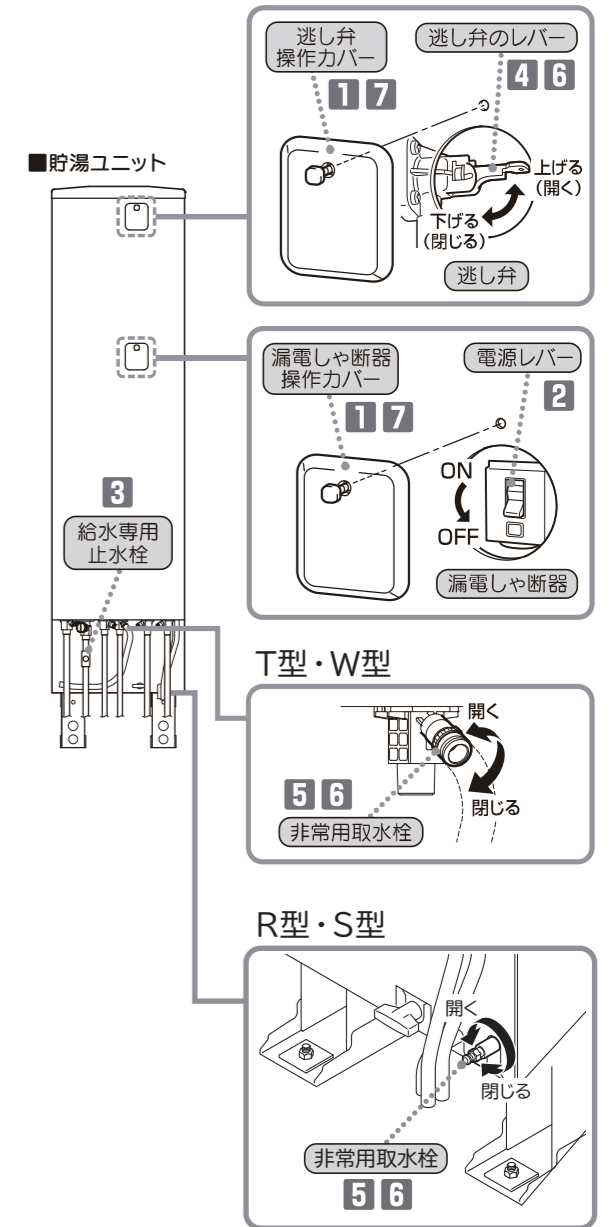
警告

- やけど注意**
- 取水中、熱湯(最高85℃)が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

2016年以降 発売モデルの場合 (R型、S型、T型、W型 モデル例 BHP-FS37SH)

※準備するもの…容器 (やかん、バケツなど)

- 1 貯湯ユニットの操作カバー(逃し弁、漏電しゃ断器)をはずす。
- 2 漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。
- 3 給水専用止水栓を閉じる。
- 4 逃し弁のレバーを上げる。
- 5 非常用水取水栓を開き、容器に水を受ける。
●ホースをつかみ、1回転~1回転半まわしてください。それ以上まわすと、はずれるおそれがあります。
- 6 取水が終わったら、非常用水取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる。
- 7 操作カバー(逃し弁、漏電しゃ断器)を元どおりに取り付け。



警告

- やけど注意**
- 取水中、熱湯(最高90℃)が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

貯湯ユニットに給水するとき

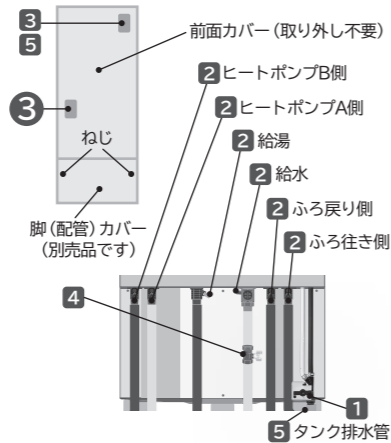
●ご使用前に貯湯ユニットを満水にして、ヒートポンプユニットのエア抜き、給湯回路部のエア抜き(水道直圧型のみ)を行う必要があります。下記の手順に従ってください。
 なお、【L型(2012年発売)、N型(2013年発売)、P型(2014年発売)】の水道直圧給湯(ナイアガラ出湯)は、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。
 (作業は有償になります。)水道直圧給湯(ナイアガラ出湯)であるかは「取扱説明書の表紙、または貯湯ユニット前面カバー左上の銘板」で確認できます。



BHP-FV型、BHP-F型、BHP-FW型、BHP-FR型、BHP-FG型、BHP-FX型、BHP-A型、BHP-ZA型、BHP-Z型

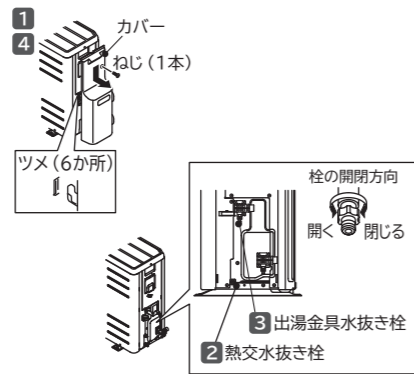
1 タンクに給水する

- 1 タンク排水栓が「通常」位置になっていることを確認する
- 2 水抜き栓(6か所)が閉まっていることを確認する
- 3 逃し弁のレバーが上がっていることを確認する
- 4 タンク専用止水栓を開き、タンクに給水する
- 5 タンク排水管から水が連続して出てきたら、逃し弁のレバーを下げる
 - ・連続で水が出たら満水です。
 - ・満水まで約30分~40分かかります。



2 ヒートポンプユニットのエア抜きをする

- 1 カバーを外す
 - ・ねじ(1本)を外し、カバーをツメ(6箇所)が外れるまで下方へスライドさせて外します。(ねじがゆるまない時は、プラスドライバーを使用してください)
- 2 「熱交換水抜き栓」を3分以上開き、水が勢いよく出たら、「熱交換水抜き栓」を閉じる。
- 3 「出湯金具水抜き栓」を3分以上開き、水が勢いよく出たら、「出湯金具水抜き栓」を閉じる。
- 4 カバーを取り付ける

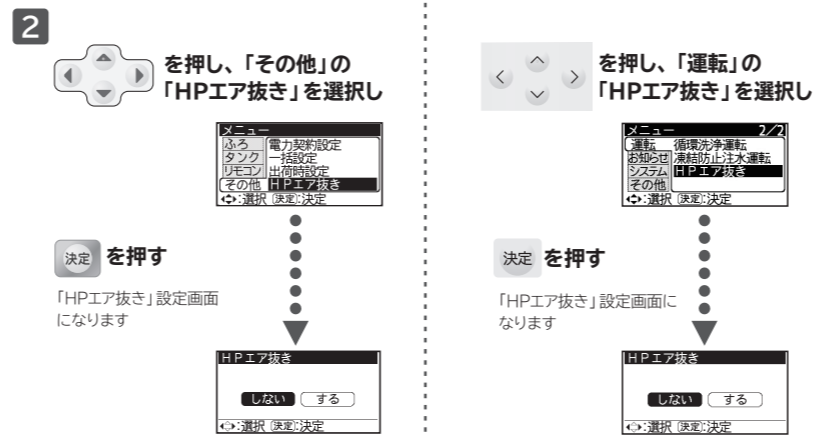


3 漏電遮断器のスイッチ(電源スイッチ)を「ON」にする

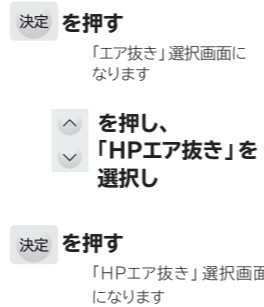
お願い
 漏電遮断器のスイッチは、タンクの満水とヒートポンプユニットのエア抜きを必ず実施してから、「ON」にしてください。ヒートポンプユニットのエア抜きをせずに「ON」した場合、故障の原因になります。

4 ヒートポンプ配管のエア抜きをする

- 1 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

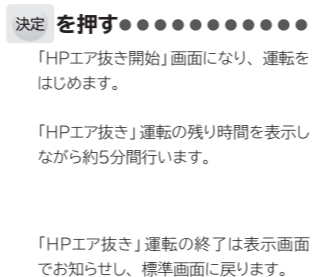


- 2 を押し、「運転」の「エア抜き」を選択し



※モデルにより「HP エア抜き」の場所が異なります。リモコン画面で確認いただき、上記のいずれかの操作を行ってください。

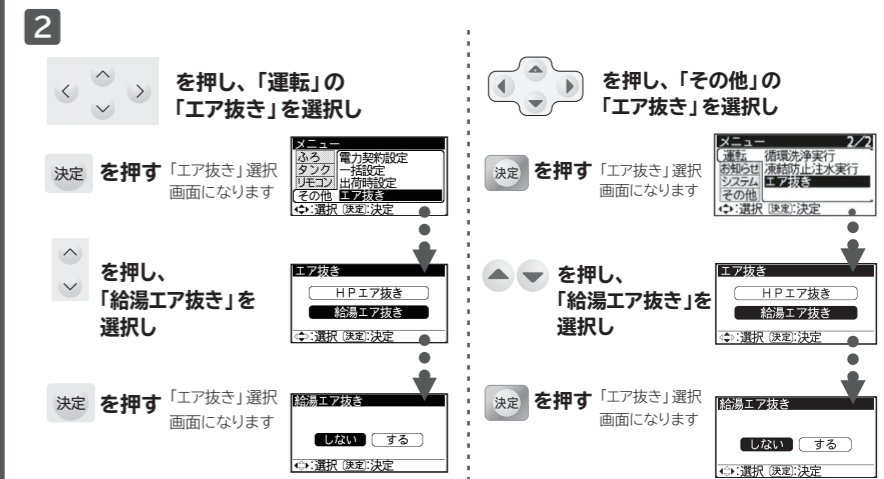
- 3 <> を押し、「する」を選択し



5 給湯回路のエア抜きをする [水道直圧給湯(ナイアガラ出湯) (ナイアガラタフネス)の場合のみ]

警告
 タンク内の温度が下がっていることを確認する
 ※蛇口から高温のお湯が出て、やけどのおそれがあります。

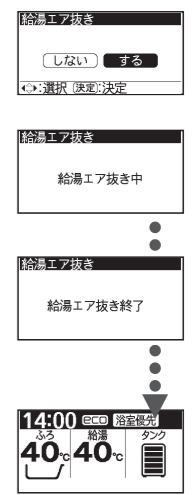
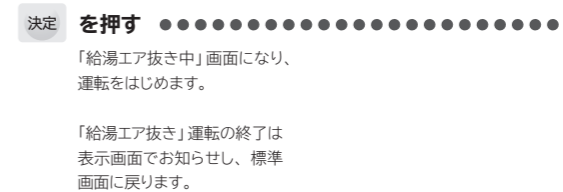
- 1 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す



※モデルにより「給湯エア抜き」の場所が異なります。リモコン画面で確認いただき、上記のいずれかの操作を行ってください。

お願い
 「給湯回路のエア抜き」を行う前に、リモコンのタンク残湯表示が消灯していることを確認してください。タンクの残湯表示がある場合は、先に「タンク内の温度を下げる」を行い、タンクの残湯表示を消灯してください。タンクの残湯表示がある状態で「給湯回路のエア抜き」を行った場合、エア抜き完了後直後に蛇口を開くと蛇口から熱いお湯が出ます。

- 3 <> を押し、「する」を選択し



貯湯ユニットに給水するとき 添付2-2

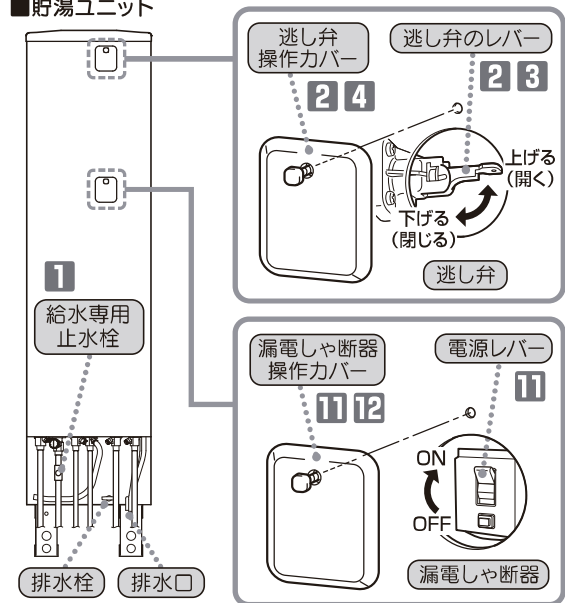
BHP-FS***H型 フルオート(薄型タンク)

貯湯ユニットを満水にする

※排水栓が閉じていることを確認してから作業をおこなってください。

- 1 給水専用止水栓を開く。
- 2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。
●約30分で貯湯ユニットが満水になります。
- 3 排水口から勢いよく水が出たら逃し弁のレバーを下げる。
- 4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

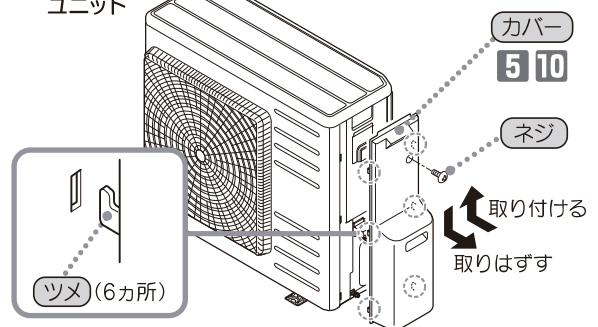
■貯湯ユニット



ヒートポンプユニットのエア抜きをする

- 5 カバーのネジをはずし、下へスライドさせてツメをはずしカバーを取りはずす。
●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。
- 6 熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする。
●3分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。
- 7 十分エアが抜けたら、熱交水抜き栓を閉じる。
- 8 出湯金具水抜き栓を開き、エア抜きをする。
●3分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。
- 9 十分エアが抜けたら、出湯金具水抜き栓を閉じる。
- 10 エア抜きが終わったら、カバーを元どおりに取り付ける。

■ヒートポンプユニット



電源を入れる

- 11 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする。
●自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始し、リモコンに「HPエア抜き運転中」が表示されます。
●約10分でエア抜き運転が終了します。
- 12 漏電しゃ断器操作カバーを元どおりに取り付ける。
- 13 日時設定、給湯・ふろ温度設定をする。
(→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」、「お湯・シャワーを使う」「お風呂の温度を設定する」を参照)

